

育てよう! 子どもの元気・子どもの未来

発達の実現
学校・家庭・地域で
元気な子どもを
育てます。

和歌山の未来を拓く子ども

- ◎目標をもってしっかり学ぶ子ども
- ◎自分もみんなも大切にしている子ども
- ◎いろいろなことにチャレンジして、心と体を鍛える子ども

市民性の育成
社会の中で、
しっかり生きていく
力を育てます。

学校は

- ◎授業を大切に、一人ひとりがよくわかるまで取り組みます。
- ◎規律を大切に、互いを生かす仲間づくりを進めます。

・指導の工夫改善を進め、つまずきの見られる子どもへの手立てを行います。
・地域と連携して体験活動などを充実します。

家庭は

- ◎社会のルールやマナーを学び、子どもに正しいしつけをします。
- ◎子どもとふれ合い、話し合う機会をつくれます。

・毎日1時間はテレビやゲームをやめて、読書や家族団らんにつとめます。

地域は

- ◎おとな同士のつながりを大切に、地域ぐるみで子どもを見守ります。
- ◎学校の取組や家庭の子育てを応援します。

・あいさつや声かけをして子どもを励まし、安全を守ります。

連携して、子どもの笑顔が輝く学校・家庭・地域を創ります

和歌山県教育委員会では、「育てよう! 子どもの元気・子どもの未来」キャンペーンを実施しています。

「心でつなごう学校・家庭・地域」ホームページ URL
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500200/dotoku/>

平成 21 年度和歌山県道徳教育推進協議会からのメッセージ

- ◎人に会うこと、人とかかわることを楽しもう。きっと気づくはず。私もあなたも大切だということに。
- ◎つらく苦しい時に、気持ちを受け止め、そっと背中をおしてくれる人に会えることは幸せです。
- ◎人とのすばらしい出会い。地域の伝統や自然の発見。「この町が好き」と言える子どもに育てほしい。

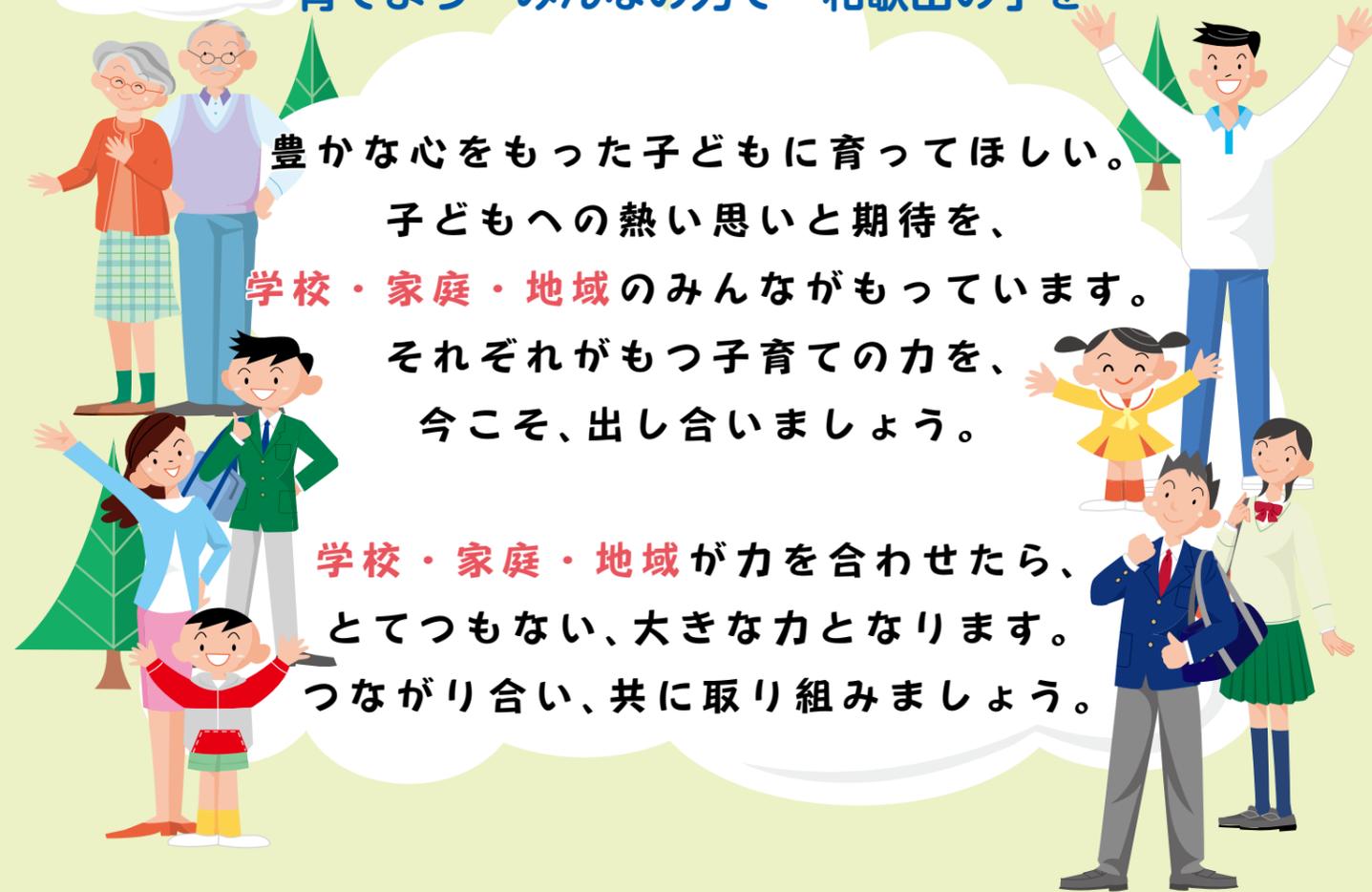


奥澤 典子	紀の川市社会教育委員	島 恒生	畿央大学教育学部教授
下村 克彦	かつらぎ町教育委員会教育長	杉若 哲司	県立南紀高等学校長
堂山 優	和歌山市立宮小学校長	細田 能成	和歌山市立紀之川中学校長
前 吉昭	有田市立保田小学校長	前迫 早苗	和歌山県社会教育委員
森 裕文	白浜町共育コミュニティ地域共育コーディネーター	柚瀬真規子	和歌山県 PTA 連合会顧問

(50音順)

心でつなごう 学校・家庭・地域

～育てよう みんなの力で 和歌山の子を～



豊かな心をもった子どもに育てほしい。
 子どもへの熱い思いと期待を、
学校・家庭・地域のみんながもっています。
 それぞれがもつ子育ての力を、
 今こそ、出し合いましょう。

学校・家庭・地域が力を合わせたら、
 とてつもない、大きな力となります。
 つながり合い、共に取り組みましょう。

- 和歌山県道徳教育推進協議会では、子どもたちの豊かな心の育成をめざした教育の在り方について協議し、学校・家庭・地域が連携し、子どもの道徳性を養うことの大切さを呼びかけることにしました。
- 子どもの道徳性は、学校だけでなく、家庭や地域社会でのさまざまな心を育てる取組が響き合ってはぐくまれます。豊かな心の育成には、今こそ学校・家庭・地域の連携が重要です。
- 本リーフレットでは、平成21年度和歌山県道徳教育実践研究事業推進校での取組を紹介しています。共に取り組むための参考になることを期待しています。



子どもの豊かな心を育てる ネットワークをつくらう



道徳の学習内容を保護者や地域にお知らせしています

～子どもと道徳について話し合みましょう～

学校と地域がつながる情報発信

(和歌山市立紀之川中学校の実践)

近隣の小学校の掲示板や地域の回覧板、学校のホームページなどで、情報を発信し、あいさつ運動の協力や外部講師による道徳の特別授業への参観などを呼びかけています。



願いを共有するアンケートの実施

(海南市立日方小学校の実践)

アンケートの結果を学級懇談会などで話題にし、学校と保護者が「育ってほしい日方の子ども像」を共有して取組を進めています。

保護者の願い～こんな子どもに育ってほしい～

- ・第1位 思いやりのある子
- ・第2位 命を大切にする子
- ・第3位 善悪の判断ができる子



地域に開かれた学校

(海南市立亀川中学校の実践)

保護者や地域の方に、「道徳の時間」の授業公開や、地域全戸に「学校だより」を配付するなど、学校が行う道徳教育の取組に対する理解を深めています。

地域の教育力を生かした取組を推進しています

～学校は地域の方を待っています～



地域の産業を生かした学び

(有田市立保田小学校の実践)

有田市役所(みかん課)や農業士さんの協力を得て、みかんの摘果作業や収穫作業などの体験活動を行い、地域を愛する心や働くことの尊さなどを培っています。



「福祉」とは難しいことではなく、みんなが幸せになるために少し協力することなのだ。

ゲストティーチャーによる講話「早中タイム」

(日高川町立早蘇中学校の実践)

地域の方や卒業生に様々なテーマで講話をしていただく機会を設けています。その一つとして、福祉関係の仕事をしているOBの方に「福祉の心」というテーマで講話をいただいています。



生き方を学ぶ「先輩が先生」講座

(県立南紀高等学校の実践)

卒業生を講師に招き、人間としての在り方生き方を考える講演会を実施しています。様々な先輩の体験談が、「生き方」を見つめ直し、夢を広げるよい機会となっています。



地域ぐるみで子どもを育てています

～子どもの心育てに参画しませんか～

子どもを育てる組織の充実

(田辺市立三里小学校の実践)

語り部をしたことで、前よりも古道のすばらしさが分かりました。

ふるさとを誇りに思う子どもに育ってほしいと願い、「三里心の育成協議会」を設立し、地域で子どもを育てることを大切にしています。

また、「古道語り部ジュニア」の取組は、子どもたちにとって生まれ育ったふるさとのよさを知る活動になっています。



地域の一員として行う奉仕活動

(紀美野町立野上中学校の実践)

学校からの呼びかけにより、保護者や地域の方と共に、学校内の整備活動や、学校周辺の美化活動に取り組んでいます。活動を通して、人や社会とのつながりの中で活躍できる生徒の育成をめざしています。



地域ボランティアの方との奉仕活動

(有田市立保田中学校の実践)

地区別縦割班を活用して、中学生と小学校5・6年生が、保護者や地域の方と共に奉仕活動を行っています。心情や意欲を高める「道徳の時間」との関連を図ることで大きな効果をあげています。

心を豊かにする体験活動を大切にしています

～直接体験が子どもの心育てますよ～



体験活動を生かした道徳教育の充実

(かつらぎ町立笠田中学校の実践)

保護者と共に、「はじめよう心のあいさつ笠田から」をテーマに生徒全員参加の朝のあいさつ運動を展開しています。他にも地域のボランティア活動や地域の歴史や文化を学ぶ体験活動なども行っています。



専門家による心に響く体験活動

(すさみ町立江住中学校の実践)

茶道・福祉・職業体験等を通して、専門家から、礼儀やマナー、職業観や人生観を直接学ぶ体験活動を実施しています。



お抹茶は、おいしかったです。のみ方やふるまいなど、さまざまな作法を学び、今度は自分でお茶をたててみたいと思いました。

役割を自覚する体験活動

(串本町立潮岬中学校の実践)

地域の方から読み聞かせを学び、それを生かして近隣の幼稚園を訪問し、園児に絵本の読み聞かせを行っています。避難訓練を合同で行うなど、ふだんからつながりを大切にする中で中学生としての自覚を高めています。

